

イエス誕生の経緯

マリアは月が満ちて、
男子の初子を産んだ。
そして、その子を
布にくるんで飼葉桶に寝かせた。
宿屋には彼らのいる場所が
なかったからである (ルカ 2 : 6 ~ 7)

この箇所には重要な内容が二つ、第一は「マリア」

1

【父親】は《子》を産んだ



マリア (母親) は《初子》を産んだ

この子の出生に、男は関係なし

出生から700年前の聖書預言

「見よ、処女が身ごもっている」

(イザヤ7 : 14)

2

「見よ、処女が身ごもっている。
そして男の子を産み、
その名を **インマヌエル** と呼ぶ。」

||

神が私たちと共におられる

この男の子は
神が人となられたお方である

3

この箇所が含む重要な内容の二つ目

そして、その子を
布にくるんで **飼葉桶**に寝かせた。
宿屋には彼らのいる場所が
なかったからである (ルカ 2 : 6 ~ 7)

布とは？ 飼葉桶はどこに？

4

× 場所は馬小屋、布は産着
木造の家畜小屋や馬小屋ではない

家畜の収容場所は、洞窟
洞窟は、遺体の安置場所にも
布は、遺体に巻く布



この子は死ぬために生まれてきた

5

なぜ神が人となられ、
死なねばならないのか

結論は

罪なきお方が
私たちの身代わりとなって
死んでくださり、
私たちが生きるため

出生から700年前の預言を見ます

6

預言の要点 5つ

- A) メシアは成功し高められるが、その前に苦しみを受ける。この預言は世界に驚きをもって伝えられる。それをばかにした権力者たちも認めざるを得ない日が来る（メシアの再臨のとき）

7

この預言をユダヤ人たちが認める日が来る。そのときの彼らの告白

- B) 今まで自分たちは信じてこなかった・・・
- C) 確かに彼は私たちの罪を負った
- D) 痛めつけられても口を開かなかった。彼に罪はなかったのに

E) 神の計画

8

A)メシアは成功し高められるが、
その前に苦しみを受ける

「見よ、わたしのしもべは栄える。
彼は高められて、上げられ、きわめて高くなる。多くの者があなたを見て驚き恐れたように、その顔だちは損なわれて人のようではなく、その姿も人の子らとは違っていた。

9

そのように、
彼は多くの諸国民を驚かせる。

王たちは彼の前で口をつぐむ。

彼らが告げられていないことを見、
聞いたこともないことを悟る
からだ。」

(イザヤ52：13～15)

10

B) 今まで信じてこなかった

私たちが聞いたことを、だれが信じたか。**主の御腕**はだれに現れたか。彼は主の前に、ひこばえのように生え出た。砂漠の地から出た根のように。彼には見るべき姿も輝きもなく、私たちが慕うような見栄えもない。

(イザヤ53：1～2)

11

彼はさげすまれ、
人々から のけ者にされ、
痛みの人で、病を知っていた。

人が顔を背けるほど さげすまれ、
私たちも彼を尊ばなかった。

(イザヤ53：3)

イエスを処刑した後の世代のユダヤ人たちも

12

C)確かに彼は私たちの罪を負った

まことに、彼は私たちの^罪病を負い、
私たちの痛みを担った。

それなのに、私たちは思った。

神に罰せられ、打たれ、

苦しめられたのだと。（イザヤ53：4）

病と痛み：罪にまみれているイスラエル民族（後のユダヤ人）の状態を全身が病気に冒されている人に比喻
（イザヤ1：4～6）

13

しかし、彼は
私たちの背きのために

刺し通され、手足を釘で、脇腹を槍で

私たちの咎のために

砕かれたのだ。人々からの悪口侮辱

彼への懲らしめが

私たちに平安をもたらし救い、解放

その打ち傷のゆえに、

私たちは癒された。罪を赦され清められた

（イザヤ53：5）

14

私たちはみな、
羊のようにさまよい、
それぞれ自分勝手な道に
向かって行った。

しかし、主は
私たちすべての者の咎を
彼に負わせた。

(イザヤ53：6)

15

D)痛めつけられても口を開かなかった。
彼に罪はなかったのに

彼は痛めつけられ、苦しんだ。だが
口を開かない。屠り場に引かれて行
く羊のように、毛を刈る者の前で
黙っている雌羊のように、彼は口を
開かない。

(イザヤ53：7)

16

牢獄に入れられ、
 裁判にかけられて、
 彼は処刑された。
 彼の時代の者で、
 だれが思ったことか。
 彼が私の民の背きのゆえに打たれ、
 生ける者の地から断たれたのだと。
 (イザヤ53：8)

17

彼の墓は、
 悪者どもとともに、
 富む者とともに、
 その死の時に設けられた。
 彼は不法を働かず、
 その口に欺きはなかったが。
 (イザヤ53：9)

具体的に犯した罪は無く、
 心の内側も正しく清かったのに。

18

E)神の計画

罪の償いのささげ物

罪

しかし、彼を砕いて**病**を負わせることは、主のみこころであった。
 彼が自分のいのちを**代償のささげ物**とするなら、**末永く子孫を見る**ことができ、主のみこころは彼によって成し遂げられる。（イザヤ53：10）

死から復活し子孫（信者たち）を見る

19

神のことば

「彼は 自分のたましいの激しい苦しみのあとを見て、満足する。
 わたしの正しいしもべは、**その知識**によって多くの人を義とし、彼らの咎を負う。（イザヤ53：11）

キリストは聖書に書いてあるとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、また葬られたこと、また聖書に書いてあるとおりに、三日目によみがえられたこと

（I コリ15：3～4）

20

神のことばが続く

それゆえ、**わたしは**、
 戦勝品（王権）を
多くの人とともに**彼に** 与える。
彼は強者たちとともに、
 それを分け与える。 （イザヤ53：12a）

多くの人・強者たち＝イエスの信者たち
 イエスと共に神の国の共同統治者となる（黙20：4）
 イエスは、諸国民の中に王を立てる。
 イエスは全世界の王。

21

彼が自分のいのちを死に明け渡し、
 背いた者たちとともに数えられた
 からである。 罪人のひとりに数えられたが、
 それは他の人の罪を負うため

彼は多くの人の罪を負い、背いた者
 たちのために、**とりなし**をする。」
 （イザヤ53：12b）

死・復活・昇天を経て、イエスは今、天において
 信者たちのためにとりなしをしておられる

22

イエスの死は・・・

- 私たちの**身代わり**として
- 私たちの**罪を負う**ためであった
- これは、**神のみこころ（計画）**であった

23

そのことを信じた者を 神は・・・

- **義**（罪のない者）と認め
 - **平安**（神との新しい関係）を与え
 - **神の国**に入れてくださる
- 神の国に入るときは、**新しい体**で
4月イースター礼拝、**復活**について

24